Vol. 32 No. 9289 Friday November 26 1937 TAIRIKU NIPPO 昭和十二年十一月廿六日（金曜日）第九千二百八十九號

日獨伊の防共陣強化擴大
壓力に抗し得ずソ聯は後退
極東問題で次の政策は何？

東京廿六日——イタリーの防共協定加盟に伴る東京、ベルリン、ローマ枢軸の問題を防止せんとしてソヴエット以外の他所諸民主々義諸國家群への攻勢かりとして極熱轉換に必死となつてゐるが官吏的方に対し得ず非常な苦悩を示して來た、日ソ漁業條約更新問題に初め其他諸種の懸案を一挙に退治せんとしたソヴエットの、次に執らんとする二月前の轉換を昔分解釋する以外には考へられない

ロンドン廿四日——廿四日モスコーから伝ロンドンの消息筋に於て報じ伝はる支那に於ける支那軍の敗戦とブリュッセル會議に於けるソヴエットの期待外れとの爲め三度方向轉換を餘儀なくされ共産黨並に政府首脳部の蒼白さを物語るエコーよりの情報

支那軍の慘敗と九國會議失敗
ソ聯苦慮するも身から出た錆

ロンドン廿四日——廿四日モスコーから伝ロンドンの消息筋に於て報じ伝はる支那に於ける支那軍の敗戦とブリュッセル會議に於けるソヴエットの期待外れとの爲め三度方向轉換を餘儀なくされ共産黨並に政府首脳部の蒼白さを物語るエコーよりの情報

支那の抗日持久力に就て

ソヴエット政府の現地情報は勿論の事英米仏等に配信した情報網は等しく失敗を物語る

召還

されると言ふ事を意味するからである、然し乍らこれを防がんとして作爲的報告をして後に立ち現地情勢が從來の報告を裏切る時は之ぐトロツキイストとしての烙印を捺され本國へ

突如

更迭される支那時局の最も

ドン武官室もて秋旁れ群へ入駐した、斯くしてソヴエット聯邦の在外駐在員の更迭は眞剣として起つてゐる、既に駐支武官ルーピン將軍はモスコー外交界では又役リトヴノフ外務人民委員の更迭説が流布されて來たが之は或る事情で當分は實現すまい、何れにしてもソヴエットは對支對日方策の決定に迷つてゐる

民間航空士養成に新設備
經費一千萬圓要求

東京廿六日——戦備充実たる民間航空機乗員の充實を期する爲逓信省は先般來關係當局と打合せを重ねてゐたが愈之が具體案を作成し先づ明年度には其の第一段階として全國五ケ所に中等學校程度の國立航空學校と次ぐ養成機關と一ケ所に專門學校程度の航空學校を設置し民間少年航空士を養成する他飛行場を中學程度の學校五ケ所に附屬新設する事としその經費約一千萬圓を計上大藏省に要求しその根幹に就ては諒解を得たやうである、右計畫は十四年度以降五ケ年計畫を以て實現すべく計畫の大要は次の如くである

（一）修業年限五ケ年の中等學校程度の航空機乗員養成學校を二縣に一校宛設立する事

（二）右養成學校では操縦と機關の兩部門に就き教育を施すと同時に普通教育をも修得せしむる

（三）上級學校への入學その他は中等學校と同一

北支への荷動き
漸く活潑になる

東京廿六日——滿鐵當局は北支への荷動きは漸く活潑を加へつゝあるが最近天津出張雜持會の方針により輸入される砂糖、小麦粉、鐵板、果實、セメント、紙煙草等商品は無税としその代りに從來の輸入關税率の五割程度の統税が賦課されるに至つた

◇……大陸風景

最後の一人、長期作戦、いつまで続く將の迷夢、こは如何曷めて黙く土にて

……▽……

対支宣戦漸く行力と化る、長期作戦務粋は蓋しこれなり、業を煮やし西郷隆盛一人二人

……▽……

対英宣戦論沸騰、新聞は連論を煽リードす、不滅なる英の行方にあられたり

……▽……

松井大將、支那を抜き陸、米勢力撃破に除念なし、南京や名將眺み風實し

……▽……

熱烈、雄壮いや賑やかであつたそう左、昨夜の大演説會、演説百數名くして欠伸なし

◇……新文相木戸幸一侯爵……◇

煙草輸入の抑制に
日本で大增産の計畫
結局自給自足を圖る

東京廿六日——大藏省專賣局では二十四日より二十六日まで三日間中央會議所に内外地煙草關係事務官會議を開催、外務大藏拓務各省、對滿事務局、滿洲國政府より關係官出席、戰時經濟下に於ける煙草の生産及び輸出入に關し次の如き申合せを行つたが、國際收支調整の見地から今後紫煙草及び製造煙草の輸入を抑制する爲明年度に於て米國産を主として四百萬キログラム及び口付用百萬キロの葉煙草を内外地を通じ增産する事に決定

（一）葉煙草の生産に關する事（イ）所要原料に就ては内外地を通じ全體として自給自足を以て適地適作主義に依り之が生産充實に努め尚必要原料の融通は各地相互間に於て今後一層積極的に努力する事（ロ）内外地と共に今後極力優良原料葉の增産に努める事（ハ）滿洲國に於ける原料葉煙草に就ても前項の趣旨に依り善處する事（二）煙草の輸入に關する事、葉煙草及び製造煙草の輸入に就ては爲替關係を考慮して今後出來る限り之を減少する事（三）煙草の輸出に關する事、葉煙草の輸出に就ては今後一層積極的に努力する事とし之が爲内外地を通じ必要なる增産に努める事

數千名のローマ市民
我が大使館前で萬歳
伊國でも防共祝賀氣分溢る

ローマ、廿五日——東京ベルリン廿五日本大使館前に參集日本人獨伊防共協定一周年記念祝賀會が行はれた二十五日午前十時ベルリーニ現れイタリー國旗を振りつゝ之に應へ（非常な歓呼）防共戦線に參加したイタリーの國に於ても助太刀で祝賀氣分高揚し各新聞は何れも三國の提携を歌ひ讃へ各紙は何れも三國の提携を歌ひ讃へる記事を掲げたが、數千名のファシスト

永野吉田兩將軍
軍狀奏上に參内

二十六日午前十時大使館前に參集日本人獨伊防共協定一周年記念祝賀會に出席の爲來伊中の永野軍令部長、吉田海軍大臣は二十六日午前十時參内し軍狀奏上の後二十六日午前十時參内

防共協定
記念祝賀會
民間六國體で

ローマ、廿五日——日獨伊防共協定一周年記念祝賀會は二十五日夜ローマ市内で盛大に挙行され伊國側からデ・ボノ大使代理ネーベル參事官、ドイツ側からデルクセン大使代理ネーベル參事官、日本側から日本大使代理の資格で出席、ローマ市内の各種團體代表約一千名、午後七時開會後ネーベル獨大使代理の發聲で天皇陛下萬歳を唱へ、頭山翁の發聲でヒトラー總統、ムソリーニ首相の萬歳を唱へ發起人館代表ムッソリーニ伯大使代理の挨拶、平沼首相、有田八郎外相、

東行記

河上生

十一月十六日午後、本願寺に二泊し、翌日も小阪氏の御案内で理事大小阪氏に招かれて、同氏の御宅を訪れ、所謂同氏の別宅に泊る。小阪氏宅は、同氏の農園に百五十坪の別邸の外、陸家から三四百坪の別邸を別に住しているとのこと、同氏は、なかなかの好成績を収め得たるものと深く同氏に感謝します。

×　×

同地滞在四日間、九日夕方、同地の同胞子女のため日本語教育をなすべく、ヒラヒラアー引返し、宮崎、ヒラヒラアーに帰宅して、市左衛門氏と共に、日本語教育に努力して居られるが、市左衛門氏は日本語教育の副業として、ヒラヒラアー小阪氏の御紹介で同地在留同胞氏に対面し、同氏の御厚意に感謝し、その夜の十二時後の汽車で同地を出発、翌日、松岡大使の御室に、翌日は、松岡大使の御室に、同地在留邦人宅に泊し、その夜の十二時後の汽車で同地を出発、翌日、夜十時半無事に帰宅。

×　×

何處の家庭を訪れても三人、四人、五人、多いところで七、八人の年女がわり、それ等子女の教育には各家庭とも相當に頭を悩ましてある様でありました。子人学校に通ふにしても遠いところで三三哩離れてゐるために自動車で毎朝送つたり或ひは馬で通はせてゐる家庭もあつた。

×　×

ケローナ、バーノン地方在留支那人が左程に日本人に対して排日をやつてゐる風も聞かなかつたが、ニスグリッチ、レーモンド各地に於ても各同様でありるやうだが、ヤヤルガリー在留の支那人は二千名ばかり居り相當に排日をやつてゐるやうだ。例によつて通信員は日本の悪口をやつたり日本品ボイコットせよ、どこかの宣伝ポスターを各町々の電柱に貼りつけたり或は支那人経営の料理屋へ西洋料理屋をは全然日本人の客を入れないそうである。排日をやつてゐるのは支那人ばかりでなく、牧師とか或ひは共産系統の連中が盛んに日本の悪口をシャベつてゐるとのことである。

×　×

前記の如く支那人が各町々の電柱に日本品ボイコットせよ、などの宣伝ポスターを貼りつけて歩く、それを後から一々剥ぎ取つて剛にさはつてゐるのは、翌日、また、ポツとしてゐられませんから一々剥ぎ取つてしまふのです、すると翌日も又同じ様に貼つてあるから又剥ぎ取る、すると又貼るといつた具合に何回もノ繰返してゐましたが、此の頃ではもう貼つてゐませんと其代は語つて居た。

×　×

最後に各地同胞諸氏より受けた御厚志に対し深く感謝致します。（一九三七・一一・二三）

故別天嬢の追悼會

甲山小百合

上記の別の草も何時の間にか、沼辺先生、鄭先さん、それに私を加へて五人でした。秋の七草、蘆、撫子の岐草挿刻が室の中央に下り、時に日名家の手に成る額やがかりられ、今宵の追悼に日ふさはしいパーラーでありました。パーラーの中央の丸テーブルを囲んで私達は静かに居並びました。

小倉先生のお話、夫人の神秘に私は更らに作りし日の別天嬢への追懐を深められました。宮崎牧師夫人の文章の中に別天嬢は今のローヤル・オークの山頂に安らけく眠つてゐるとか、嬢の草、蘆、撫子、ことに仏達が共にいかに下してゐられる事だらうと思はれました。

昨年後就任小倉牧師夫人の前任オーヤン・ニールス教師夫人から寄せられた文章の中に別天嬢を悼む句がありました。

菊一輪北にかみれし時雨かな　佐藤一夢

南天の實に降り注ぐ雨ひやしし舟出りし島の夕べや冬の霧　宮崎仙華

菊活けるゆとりうれしき朝哉　櫻山醒花

秋時雨心して降れ新墓の邊に　安松芳花

葉の落し庭木にそぼつ雨の音　山崎西村

菊一輪夜半の風に無傷なる

□……詩……□

郷愁

ゆみり

（一）

母さま
母さま
寂しいな
夕べ異郷の入日ぐも
あかりにあかく
胸にしみ
何だか哀しくなりました
母さま
母さま
こひしいな
何時もながめた
ふるさとの
山の入日がなつかしく
涙する子となりました

（二）

今宵
ふるさとも月夜なんだろ
思ひ出は
桑畑に　線路か
伏せられた
ちつげもぬれて——
ふるさとにのこした
思ひ出が哀しく
同じやうに
異郷での月が
私の胸をうづかせる

本紙新年號
文藝募集

ウイルス煙草
どんな煙草よりも
スムースに巻けて
よい味のする
バージニヤ煙草
シャンクフィー紙又はチューブに
なほ用ひて巻き上げは格別です

「米は米屋」
東ハスチングス街六四九
電話バンクーバー八八九二
現金で安く買へる店

各種製箱業
御注文に應じ如何様にも製作致します

指物　家大工
請負並に出仕事致します

栄養、佳味百パーセントの
純日本式
蒸カス饅頭
アンパン

病傷との傷害
タナカ ホケン
Bookkeeper Wanted
オフイス勤務志望の青年を求む
資格　晩市在住のハイ・スクール卒業生、年齢二十才迄、日本語の讀み書き出来る者
和英両文申込書履歴書を共に至急送附
Tanaka Insurance Agency
914 Credit Foncier Bldg.

紙の御用は当會社へ
包紙、紙袋、色紙、油紙、トイレットペーパー、其他ペーパー類一切
ククリ糸、カザリ糸、文房具種々卸賣
VANCOUVER PACIFIC PAPER CO. LTD.
ワター街一六〇
晩香坂バシフイツク・ペーパー會社
日本人部代理
堀壽次郎
電話　本社ツリニチ一六二二　自宅シー五三四一エキス

Atlas Tire
堅牢無比を誇る
アトラス タイヤー
日本人販賣店
朝日グラーチ
サードアベニューグラーチ
エス・テーグラーチ
自動車修繕　附屬品販賣
朝日グラーチ
晩市ゴーア及カドバ街角
電話ダグラス五五四五

N.Y.K.
1404-4th Ave., Seattle, Wn.
郵船案内

（船名）	（入港）	（出帆）
日枝丸		十二月二日
平安丸	十二月十三日	十二月廿五日
氷川丸	十二月廿八日	一月十一日
日枝丸	一月八日	一月廿二日
平安丸	二月五日	二月十九日
氷川丸	二月十九日	三月五日

◎横濱行三等片道　六三弗　神戸行　六五弗
日本郵船會社シアトル支店
代理店　晩市　B.W. Greer & Son Ltd.　美市　Great Northern Railway

衣がへの時
ホドヂン錠
虫よけに
是以上の品は
ありません！
効力……樟腦の十倍
ナフタリンの四百倍
ホドヂン錠は陸軍被服本廠の使用品を御家庭向に加工したもので毛皮、毛織物、洋服その他衣類等の虫よけには最も理想的です
徳用錠　一、〇〇
大錠　、五〇
晩市バウエル街三三一
新見商會
電話ダグラス參壹壹貳

高等南京料理
日本人諸君の御來店を歡迎
晩市バウエル街二五二
新北京
電話シー五七七四　同三五一七

自動車修繕
グッドリッチタイヤー
附屬品一切
大勉強で御用命に應じます
ポンテアツク、ビユーイツク、
ジ・エム・シ・トラツクの特約販賣店
晩市アレキサンダー街ゴア街角
日本オート
電話　ダグラス　二八九九

◈和洋雜貨食料品
晩香坂市バウエル街三三七
蛭崎商店
電話ダグラス九九一

▲ラヂオ修繕
如何なるラヂオにても丁寧に責任を以て修繕いたします
▲チユーブは無料にて試驗いたします
晩市バウエル街三三三
電話シーモア四一貳一
住宅ハイ五〇四六エル
速水繁雄

ビーシー魚店
晩香坂市バウエル街二五三
電話ダグ二七八八　夜間シー三五三八

自轉車はターメー
運動具各種　自轉車　子供用車類一切
メーン街壹壹貳
電話ダグ五五九
ターメー自轉車店
松居清雄
總て大勉強にて差上ます

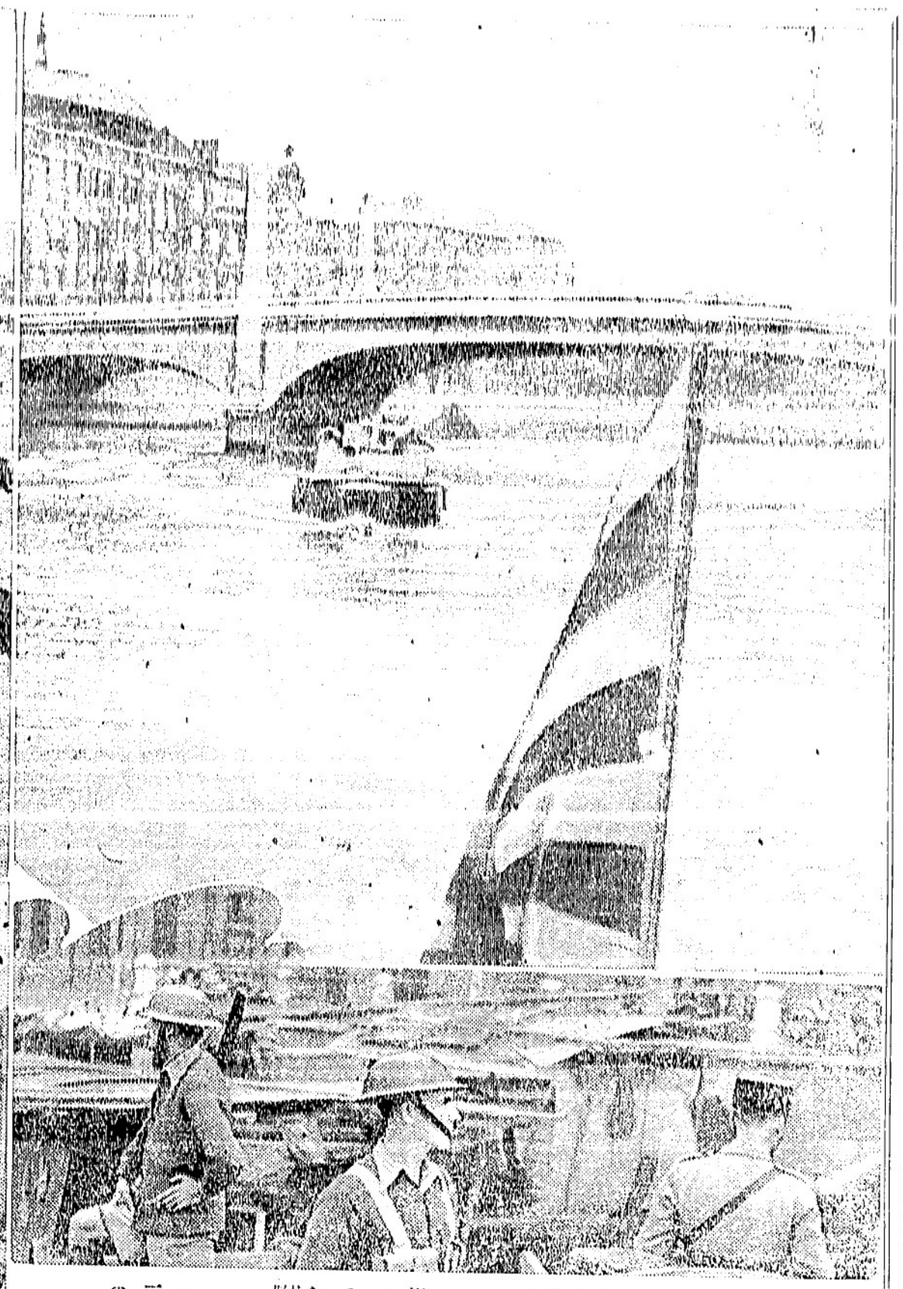
記録的快速力
CANADIAN PACIFIC
◇安全
何れも太平洋上の巨船で船の上を走る様なもので本社船へ乗つて初めて知る事實です
少し位の時化（シケ）では船は致しません
婦人子供の旅行に特に安全です
◇出帆表
ロカナダ　十二月廿七日
ロシア　十二月十一日
ロシヤパン　十二月廿五日
エシア　一月八日
□は、ホノルル寄港
◇便利
三等の待遇は特に注意して居ります
船室は各船共最上の所を選び清潔です
寝台はスプリング付マトレスです
日本食の用意があります
各船共日本人が乗組んで居ります
沙市より同賃金で連絡切符差上ます
特に日本人コック二名を乗船致させました、日本人のお客様には純日本食を差上ます
巨船
ジヤパン號　排水噸　三三九〇〇〇
カナダ號　同　三三〇〇〇
シシヤ號　同　二五二〇〇〇
アシア號　總噸數　二一六〇〇〇
ロシア號　同　一一六八〇〇〇
すまひ願會照へ記下は細詳
加奈陀太平洋汽船會社
SETO MORE
Pacific Passenger Agent
CANADIAN PACIFIC (Ocean Traffic)
J. J. FOSTER
Steamship General Passenger Agent
Vancouver, B.C.

男女衣類一切
バウエル街三二九
電話ダグ一七四七
宮崎商店

皆様の
名畑運送社
晩市ゴーア街貳貳貳
薪石炭販賣
電話シーモア一〇八九
宮本

新荷御案内
アルプス豆腐　五十ケ入　六十仙
五目の素　一包　貳拾仙
壽司の素　一包　拾仙
ヨセ揚　一鏹　拾八仙
ウルメ　一斤　拾五仙
新案防寒スリツパ　一足　一五拾五仙
ユニオン魚店
晩市バウエル街四六九
電話バイ三三五二三三六

各種製箱業
御注文に應じ大勉強を以て如何様にも製作致します
晩市バウエル街二五四
パウエル・ボックス・ファクトリー



寫眞説明

（左上）山西省の大行嶺下を流れる易水に沿ふて進軍のわが重砲隊

（右上）上海蘇州河を遡航するわが海軍内火艇と、わが軍進出を阻み河上進出を備の英兵

（左）長谷川第三艦隊司令長官の上海戰線視察

肉彈勇士の工兵

兵隊が立つて人柱にもなる 橋の架け方いろ〳〵

こんぢの支那事變には肉彈三勇士のやうな工兵の勇ましい話が澤山あります。敵は退却するとき、日本軍の追擊を邪魔するため必ず橋や道路を破壞してゆくので、工兵は出來るだけ

＝前方に出て＝

この破壞されたところを修理して橋をかけたり、道を修繕したりせねばなりません。橋といつても歩兵が通るだけなら一本橋（輕架橋といひます）でもよいのですが、馬は橋板の間から水がちよつとみえても通らないのでなか〳〵面倒です。鐵舟をもつていつて架ける事もあり（制式架橋）その附近にある材木でかけることもあります（鹿川架橋）が、材料や時間が歩兵の進軍に間に合はない場合は、工兵自身が橋になります。兵隊さんが川の中に立つて梯子や板を肩でかつぎ『さあ歩兵諸君通つてくれ、ぐず〳〵してゐては戰機を失つてしまふ』といふのです。歩兵は『國家の干城の肩をふんでゆくのはもつたいないが、お互にお國のためだ、許してくれふせてもらふよ』と拜んでその人柱の橋を渡つてゆく。

＝トーチカや＝

塹壕（塹壕の小さいのは歩兵がつくります）や坑道や鐵條網や鹿柴や拒馬をつくつたり、敵のそれを破壞するのも主に工兵です。

△……

工兵は秘密作業といつて橋をかけるのも、爆藥をしかけるのも鐵條網をきるのも敵のしらべに音をたてないやうにするのが普通です、杭をうつときは杭の頭に藁をのせて指揮者が無言で指子をとつてヨイトマケとも何ともいはないで打ちます。しかし敵がしつた上は强行作業といつて

＝敵の彈丸の＝

雨と降る中で仕事をします、また指揮官から何時歩兵が突擊するから突擊路を開けと命令されたら、どんな敵の眼の前で困難なときでも、日本の工兵は命をすて〳〵突擊路をつくります。前の上海事變の肉彈三勇士がそれです。

△……

こんぢの上海戰の敵前上陸の際、德廣部隊から二組の肉彈六勇士がでて敵のトーチカにとびこみ爆藥筒で爆破して歩兵を上陸させました、敵前上陸には海軍と工兵とが骨折をします。また道路偵察といつて歩兵の進む道に地雷火はうめてないか、橋はあるか、道は新たに作らなくてもよいかをみにゆくのも工兵の仕事です、上海で中村部隊長が三十名の兵隊さんをつれて

＝道路偵察に＝

ゆき、敵の迫擊砲と彈藥をつんだトラック十臺をクリークになげこんだ勇ましい話はみなさんご存じでせう、それから鐵道隊や電信隊もやはり工兵なのです

新着御案内

綺麗で撓加減は良し

干カマス

上手にたき上りました御飯に此の品を混ぜて下さい

見事な即席めしが出來上ります

筍めしの友

バウエル街三六九　電話シー五二一八…五二一九

良品廉價の前川商店

暴支膺懲の聲

聖戰三月＝世界を驚かす

我等が祖國の此の軍國譜

男なりやこそ　上原敏

銃後の妻　染千代

皇軍は蹶起膺懲の劍を揮ひ、銃後また献金に、千人針に舉國一致の熱誠漲る時、我等の至寶上原、染千代絃に起ちて全國民報國の至情を熱演した氣禀に溢れた珠玉盤でございます

（聲なき凱旋背嚢まくらに　上原敏喜代三　宗近明喜代三

（塹壕の唄　國境の節　樋口靜雄三郎　麗子

（滿洲吹雪戰友の唄　伊藤久男

（國境の子守唄　銃後の夢　霧島昇　音丸

流轉　流れ三味線　上原敏　香

人氣の總浚ひ！

今や人氣の絶頂を行く上原敏が妻戀に輪をかけたハリキリ盤！

（妻戀道中　流れ笠　上原敏　喜代三

空前の記録。。。を破つた『ぐらも賞』獲得盤！

（茶屋小町　筏ながし　上原敏　染千代

お茶屋小町は旅愁泣かせ——清澄な秋の夕にしみ〴〵と聽く『筏ながし』

（裏町人生　霧の波止場　（上原敏　結城道子　上原敏

儚ない希望と自嘲、蒼白い泣き笑ひの人生裏町。。。

＝其の他優秀盤澤山あり＝

新見商會

Phone Douglas 3112 331 Powell St. Vancouver, B.C.

支那に對して「最後通告せぬ建前」

近衛首相の重要談

將來その必要あるかも知れぬ

名古屋二十六日――近衛首相は陸軍省の戰捷祝賀會に出席の為名古屋に來り、その歸途に本日午後一時十分名古屋發の特別列車で歸京したが、同列車中で西園寺侯爵、樞密院議長、平沼内相、陸相、海相、外相、蔵相、内閣書記官長、内閣情報部長、陸軍大臣、海軍大臣、外相、蔵相、内閣書記官長、内閣情報部長の順に列車の一室で約十分間、時局に關する懇談を遂げ、十六日午後一時半から開催する閣議に出席する筈である

近衛首相の談は次の如く政府の最高目的達成に對する自己の所信を披瀝したものである

支那事變の出發點は、支那の排日政策であり、その根柱は、支那の國民政府が抗日政策を改め日本と提携して行くことが第一に必要である、日本と交渉して來るならば即ち南京政府が反省の實を示して交渉の手をのばして來る場合には、我が國としては之に應じて立つ建前だが、昨日の聲明は、反省の實を示さず徹頭徹尾抗戰を續ける場合は、我が國としても無論、最後通告的の打撃を加へる外に道なく、今回の事變は支那の民衆を國民として覺醒せしめ、支那の民衆を國民として覺醒せしめ、支那の民衆を國民として覺醒せしめ、

南京政府の意見兩立

我が軍は常州に迫り 太湖の西側では長興を占領

南京の「防御陣」を今日爆撃

太湖方戰線　十一月廿六日　上海廿六日発、太湖北方三十餘哩の地点に於ける我が軍の作戦は十一月廿三日以来一部隊は獨逸西方二十餘哩の常州面の敵を追撃しつゝあり

我が軍は一部は敵の第一線陣地を突破し我が軍の一部は長興を占領し敵の敗走を西北方に追撃し常州の敵は早くも動揺の色を見せつゝあり、常州と南京の最短距離は六十哩（約廿五里）

長興は今朝陥落

太湖南方戰線　十一月廿六日　上海廿六日発、太湖南方に於ける我が軍の一部は長興を占領し敵を追撃中の部隊は今早朝上興及び廿六日午前七時半頃長興を占領し太湖の西側にあり上興と南京間の最短距離は八十五哩（廿五里）

天嶮に怖む我軍

これから獨特の野戦

上海廿六日発　上海廿六日　前線（蘇州）の我が軍の手に陥ちた上興は蘇州と共に太湖西岸の重要地点で同地の陥落に依り敵は西方山岳方面へ潰走、上海戰は来湖沼地帯の天嶮に悩まされた我軍も獨特の野戦に移らんとして居り敵の本城南京の城後の運命も迫らんとしてゐる

上興市街を占拠したる部隊の一部は殘敵掃蕩に當ると共に一部は蘇州山脈を左たちに山地を縫つて太湖西岸の南京街道を北上し江蘇・浙江の省境へ向けて進撃を続け更に又一部は西（並ス○○）に指して進撃しつゝあり江蘇・浙江・安徽三省を境に當る分水嶺の確保は今や目睫に迫つてゐる

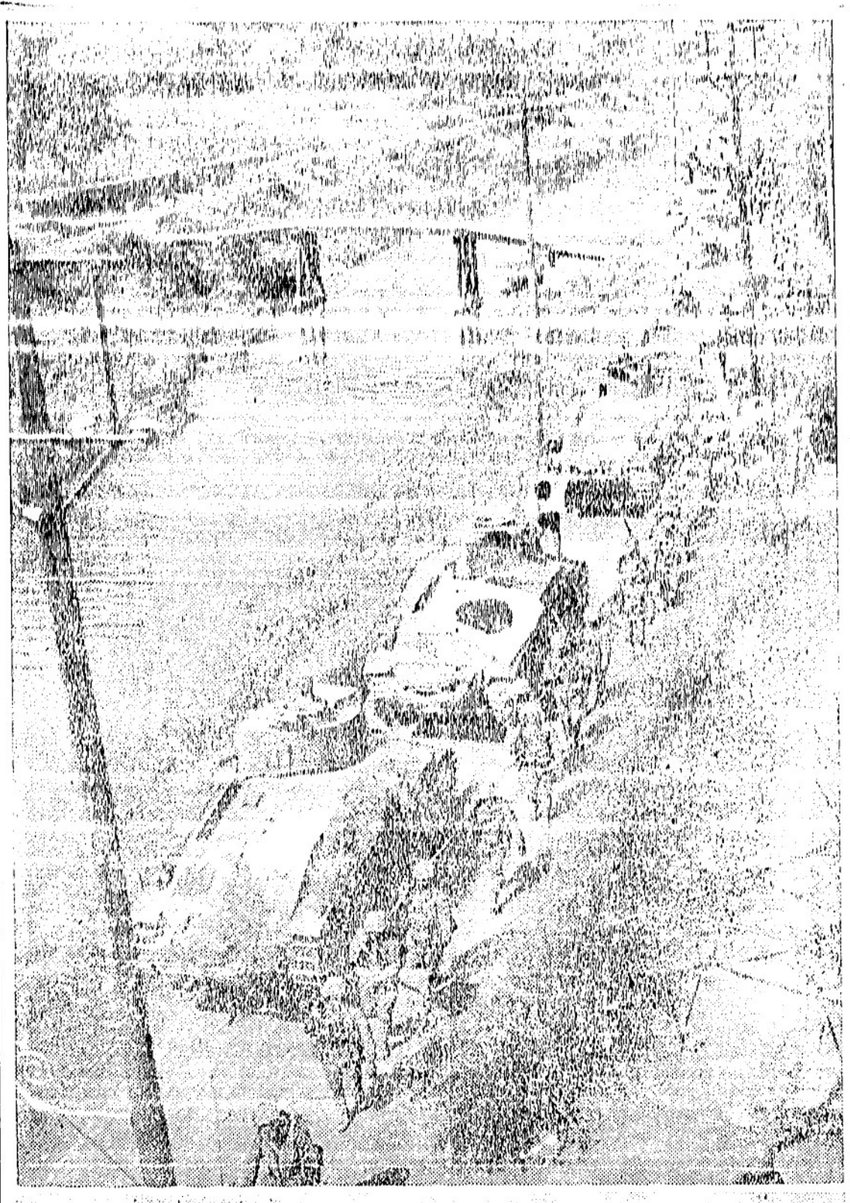
太湖を舟で横斷

我軍西岸に上陸し湖をぐるつと占領

我軍の一部は舟艇に依り太湖を横切つて太湖西岸に上陸し長興と宜興間の重要自動車道を遮断した、これで大体我が軍は太湖を一周して占領し太湖北岸と南岸の我が軍が合し得るまで上る

南京陣地を爆撃

上海廿六日午後六時発　上海廿六日午後六時　我が陸軍飛行隊は快晴を利用し上海戰線（蘇州）の敵陣地を爆撃した



（上）前線へ続々進軍の皇軍　（下）蘇州河を眺めて居る海軍陸戰隊上陸部隊の哨兵

廣德は大火事

海軍航空隊千山、三木兩部隊、柳原、熙田兩大尉、金子、野中、小倉、北島各中尉指揮の○○機は本日黎明と共に廣德（本日占領せる長興の西二十哩）に飛び市街の軍事施設並に周圍の陣地に猛烈なる反覆爆撃を敢行した、廣德市街は午前十時過ぎ大火災起り目下延燒中

（丹陽・溧陽・廣德の線）の特に丹陽附近に於ては退却中の敵地上部隊及び舟艇に依りクリークを退却中の部隊に對し爆撃を敢行し廣德、溧陽附近に於ては密集する部隊に爆撃を加へ多大の損害を與へたり

黄河の戰況

わが軍の砲撃

黄河の南岸には敵の泥繩式陣地

黄河大鐵橋を自ら爆破して濟南に逃げ込んだ山東軍廿九、七十四、八十一の三個師は河畔に陣取つて戰機を窺ふ我軍の不氣味な沈默に昔日は死の如く静まりかへつてゐるが夜ともなれば河岸の防備陣地構築を急いで居り特に濟南から下流へかけて物々しいトーチカ様の泥繩陣地を築いてゐる、また此の廿三日以來逃支度の爲めか青島方面から山東鐵道により空の客車貨車が運び込まれてゐるのが對岸から望見され我が木下部隊は此泥繩陣地や貨車に時々砲撃を加へ裝甲列車を顛覆せしめる等効果を擧げてゐる、即くして兩軍對峙のうちに大黄河に移る戰雲は愈濃くなり行くばかりである

山西省境殘敵を爆撃

石家莊廿六日——わが陸軍航空部隊藤井大尉の○○機は廿五日午後一時正太線牛疋の南十哩の山西、河南省境山岳地帯背

河南省自治政府樹立

彰德廿六日——廿五日彰德に於て各地代表民衆大會開催の結果速に河南省自治政權を樹立すべしとの意見一致したので明廿七日午後自治政府樹立式を擧行する事となつた

城鎮附近に敵兵約二千集結せるを發見、是に爆撃を加へ大打撃を與へた

我が聯合艦隊 一ト先づ歸る

陣容の充實一新

東京廿六日——（大本營海軍報道部發表）支那事變勃發以來永野大將麾下の聯合艦隊は對支作戦に從事中の所今次上海方面に於ける陸上作戦の一大進展を期とし其の所屬艦船は逐次一旦軍港に歸航し所要の整備補給、人員の補充交代など諸般の準備を急ぎ更に其陣容を充實一新する事となれり、先般新たに編成せられたる支那方面艦隊は依然當面の作戦を續行中なり、將士一同冀に優渥なる勅語を拜し恐懼感激し愈々今後の情勢に對處して出師の目的貫徹に邁進し、以て聖旨に副ひ奉らん事を期しつゝあり

大本營海軍報道部發表に依れば永野聯合艦隊司令長官及吉田第二艦隊司令長官は軍狀奏上の爲め二十六日朝着京、午前十時參内した

降伏派が將介石に勸告

南京政府に二派

本日の上海發外電に依ると對日戰反對派を代表する支那政府軍政部長何應欽等は蔣介石に對し此の際和平に出た方がよいと頻りに降伏を勧めて居ると云ふ、蔣介石は相も變らず一兵一寸土殘るまで日本に抗戰すると強がりを云つてゐるが支那政府當路中には今や明かに降伏組と長期抗戰組の二派に分れてゐることを物語るものだとして居る、日本側は先日飛行機から蔣介石に對し降伏勧告狀を投下した際秘密に降伏條件を蔣に示してゐらしいと言ふ事であり何應欽派に言はせると南京が陥落せず日本側の要求を（一）蔣介石の職を奪はず（二）支那の國土は寸土たりとも取らぬと云ふ條件は左程支那にとつて辛い事ではないから今のうちに降伏した方が得だと云ふにある由

滿洲皇帝を支那王に

尚は蔣が降伏せず飽迄も長期抗日戰をやるならば日本軍はトコトンまで攻める筈であり且つ蔣介石に對しては今後永久に葬つてしまふつもりであり惡くすると滿洲皇帝を持つて來て支那の王位に即かしむるやうな事にならぬとも限らぬから支那側に戰爭に勝目がない限り早く屈服するに限ると降伏派は云つてる、尚大切な點は支那國民の自暴自棄混亂に陥らぬ中が最もよい降伏の時期だと說いて居る

支那になほ 外國製機百餘臺

ロシア人の飛行士

東京廿六日——信ずべき筋の情報に依れば最近漢口より輸重爆機各一小隊、戰闘機二小隊の支那飛行機は廣東省白雲飛行場に空輸されたが漢口には輕重爆機各二十臺、戰闘機

四十臺ありその操縦士を養成する爲め五十名の支那人とソ聯教官が速成指導してると云はれてる、尚廣東は我が軍の空襲に恐れて防備を固め外人の高射砲手が警備に當り緊張してゐるが、支那側は日本飛行機を撃墜した場合には俸給の外に二千元の賞金を與へると宣傳してる

外人記者 親しく見聞

問題の飛行機

ニューヨーク廿六日——ニューヨーク・タイムス紙南京特電に依れば同紙特派員は廿四日日本飛行機の爲タンクを撃ち抜かれて不時着水したソビエット製戰闘機を親しく見聞した同機はタンクを破壊されてゐるが外國人操縦士には怪我はなかつたとの事である、發動機及び操縦臺にロシア語が記されてゐる事から見て同機は最近輸入されたソビエット機と思はれるが操縦士の國籍に就いては支那軍當局では口を噤して語らない、更に又外國の對支飛行機輸出狀態に就き次の如く報道してる

『ソビエット飛行機はソ聯領から甘肅省蘭州まで空輸される事となつてゐるが途中新疆省上の飛行が頗る困難の爲め輸送に支障を來してると言はれる、外國から支那へ輸送される飛行機はソ聯機の外英國のアンダーウッド機其他六十臺あり目下香港に於いて船から下されて居る』

ロシア 空軍大集結

東京廿六日——報知新聞によるとロシアは新に千五百機の空軍を沿海及シベリア國境に集結中である、尚潜水艦多數を解体して浦鹽に送り組立てつゝあり、外にソ聯機百六十機は西安を通じて支那に向ひつゝある

ホテル晩香坡 就働日本人

事變飛火か

既報の通り支那事變に依り日本人ボーイがホテルの仕事を失業したが更にホテル・バンクーバーに就働中の邦人にも飛火した

との風説があるので日曾で調査の結果事實そんな事はなく同ホテルの邦人は全部從前通り働いてる事が判つた

◎葬儀　既報故内田盛重氏の遺骸は今日午後四時十五分のナイモ・ボートで着晩、今夜九時から本派佛教會で通夜を營み明日午後一時同所で葬儀執行

捜索廣告

夫對田武司儀去る日曜日ブリタニア・ビーチより漁船にて歸途の途不明となり目下死體捜索中なるも死體は多分同方面に浮き上るものと思はれ死體發見者は州警察に届られたし、發見者には州警察の手を經て私より謝禮として金一百弗支拂ひます

十一月十八日　對田スズミ

シンガーミシン
Singer Sewing Machine Co.
393 Powell St.　Shop Phone Sey. 1931L
本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをパウエル街ミシンに取揃へて居ります
新ミシン取換へ並古ミシン求めの方は是非當店に御用命下さい
附屬品一切も取そろへてあります
マネジャー　鶴田敢藏
電話　パウエル街三九三一
自宅ツリニティ九七一一

法律事務所
エッチ・ヤング
ドミニオン・バンク・建物内一〇九號室
電話シーモア二七八七
（日本語を話します）

柳澤兄弟
フランクリン街一七六六
電話ハイ五九七八アール

名畑タキシー
ハイランド七六五
オーケータキシー
西第二街一六七七
電話ベエヒユ八一五エル
シヨワタキシー
シーモア二八八七
パウエル街二六一
高田タキシー
電話〔ドグラス八三六 シーモア3757〕
ヤマタキシー
電話シー〔一四一四 1415〕

晩市パウエル街三八一
會我運送舍
電話ダグ四七八八アール

結婚及葬式用花類
中村花屋
パウエル街二七〇
電話シー五九三五

○土地家屋、ルーミングハウス、○各種商店プレス屋等見込ある○塲所に友價賣物譲山あり○火災自動車盜難保險
晩市パウエル街參參四
一般公認代理業
奥村事務所
電話シー二八壹貳
住宅ハイ三〇六三アール

運轉手入用ヤマタキシ
モーターミシンに經驗ある裁縫婦人至急に求む仕事は年中あります
東へステング街三八九
メードウエル裁縫工場
電話ドグラス五〇七七七

求上流家庭働き娘至急入用
電話ダグ二九六二キス

パウエル街三三八
運送業
電話シー三五二八

花東花輪
一切の御用は是非當店へ
晩市西第四街二三五六（キチラノ圖書館前）
イーノー花屋
金魚卸小賣
佐々木菊三郎
電話ベーヒユ七八八一

久岡文治
晩市ブーダヤ街一九六九
電話ツリニチー四七〇二

晩市レキサンダー街三六二
電話　ダグラス　七二三

東京ステング街壹貳貳
電話フェヤ六二六三エル夜間
吉原登代

東京ステング街壹貳貳
電話フェアモント五五四三
渡邊糸子

電話シー七七四五　自宅フェア三六二七エル
出張所　ウエル街二一四　高原商會隣
電話シーモア一〇二八

ビーシー州公認
電話シー七六八〇アール
渡邊琴

晩市パウエル街二四三
電話シーモア三四四七
日本行船客切符取扱店

新小說　時代の務

竹田敏彦

（107）

〈前回の梗概〉

[illegible]

「さうでございますか……」

[illegible]

「さうでございますか……では、その風貌、何も說明しないことにして、今夜は伺ひしましたのは、風間淳三郎といふ人の人物でございます。殺害人として、いろ〳〵[illegible]になつた先生の詳細な御報告を承りたいのです。……打明つて申しますと、殺害人として、生涯を通して心配のない人でせうか、如何でせう。[illegible]外者として大變な人つた[illegible]問ですが、御服藏なさい御意見を伺かせ願ひたいと思ふのですが……」

[illegible]

「いや、御樣間のお心は、私にもよく解ります。實は私もその點では、あなたと同じ心配をしてゐる者なのです。今も春實さんからあなたのことを伺ひしてさういふ方があるのなら、私の方から御相談申上げるのだつたら、つい、さう言つてゐたところです……實は、私と駒井氏とは同郷であります上に、生時代からの竹馬の友で、駒井家の現狀につきましても、[illegible]から心配してゐる次第です……」

笹木はかう言つて、當生藏との長い交友關係から、故子の人物、後、表面の出入は絕ねてゐるが、藏の選び狀の作成まで立つた事實を、全部打明けて語つた。

「さういふ次第で、わけて春實さんの立場は、私も大變お氣の毒に思ひまして、近頃は[illegible]つ何彼と御相談をうけてゐるのですが、何しろ、いふ自意識の强い方で、[illegible]左[illegible]れどう言つても他人の意見を容れないのです。例へば、[illegible]ねの風[illegible]ます。あのお嬢さんは[illegible]ために捧げて、彼の現在の苦痛に報いるべく、[illegible]言明つて明かないのです。なる程あの方らしい美しい性質ですが、しかしこの一時の突發事件を、生涯の重大事である結婚にまで及ぼすのはどうか、私としては考慮を求めてゐるのです……勿論、この事件が公にされて、あの方の經歷も相當難かしくはなりませう。しかし、人の噂などは一時的のものでありまして、あの通り稀に見る才色備はつたお嬢さんですから、私の常識的な判斷では、いさゝか風間君では喰足りない氣もするのです……そこへ、只今お電話をいたゞいて、初めてあなたのお噂を承はつた次第で、實は春實さんのために新しい考へが湧いてゐるのですが……そこで、私から改めて伺ひたいことは、あの人に對するあなたの愛は、今もお變りはないのでせうか……」

意外な笹木の反問だつた。

笹木は、口能る立場の言葉を選つて、呑み込んだやうな笑顏で言つた。それを聞くと夏彥もらく安心顏になつて、

「さうでございますか……では、その風貌、何も說明しないことにして、今夜は伺ひしましたのは、風間淳三郎といふ人の人物でございます。殺害人として、いろ〳〵[illegible]になつた先生の詳細な御報告を承りたいのです。……打明つて申しますと、殺害人として、生涯を通して心配のない人でせうか、如何でせう。[illegible]外者として大變な人つた[illegible]問ですが、御服藏なさい御意見を伺かせ願ひたいと思ふのですが……」

夏彥が思ひ切つて訊ねると、

笹木も、

「いや、御樣間のお心は、私にもよく解ります。實は私もその點では、あなたと同じ心配をしてゐる者なのです。今も春實さんからあなたのことを伺ひしてさういふ方があるのなら、私の方から御相談申上げるのだつたら、つい、さう言つてゐたところです……實は、私と駒井氏とは同郷であります上に、生時代からの竹馬の友で、駒井家の現狀につきましても、[illegible]から心配してゐる次第です……」

笹木はかう言つて、當生藏との長い交友關係から、故子の人物、後、表面の出入は絕ねてゐるが、藏の選び狀の作成まで立つた事實を、全部打明けて語つた。

「さういふ次第で、わけて春實さんの立場は、私も大變お氣の毒に思ひまして、近頃は[illegible]つ何彼と御相談をうけてゐるのですが、何しろ、いふ自意識の强い方で、[illegible]左[illegible]れどう言つても他人の意見を容れないのです。例へば、[illegible]ねの風[illegible]ます。あのお嬢さんは[illegible]ために捧げて、彼の現在の苦痛に報いるべく、[illegible]言明つて明かないのです。なる程あの方らしい美しい性質ですが、しかしこの一時の突發事件を、生涯の重大事である結婚にまで及ぼす

[illegible]

「いや、[illegible]

「[illegible]

「[illegible]

「

蓮

三上於菟吉作
齋藤五百枝畫

（三）

（そのこ）

阿彌陀仏は、師のもとに、細い草の芽を植えたが、腰を伸ばすと、小手をかざして、この山籠の丘から、眼の下に見渡される野の入江の風光を凝と眺めてゐた。

「いかゞ左された。」

ふと、見返ると、去年の春れに、蓮の芽を植えた日向が歸つて來てゐる、笑顔で佇んでゐるのを、「ゝゝ、歸られたか？」

阿彌陀仏の面の淋しげな色は、すぐし晴れやかつて、

「ゝゝ、去年の春のことを思ふてゐた。」

と、入江の波靜かに、春光をたゝえて、風景を指さして、われが繼がれ油ぎやの教へる。

「蓮藕の蕾をのは、馬鹿子者で、千日尼は、まだ、うらゝ、美しい部上前で、彼處から上陸左されたりなりなる、上は、御陵に行きたりなりなる、上は、御陵に行きたりなりなる、上は、御陵に行き

重き任務の弾薬箱を浮橋に殘して散る！特務兵

鬪魂隊長が勇士へ感激の歌

上海にて十二月四日発　北支部隊鬪魂隊は高澤一郎氏は胸につけてある帽めしい鬪魂のマークにも似合はずかくれた浮人だ、事し戦ひの野に鬪魂をさらすと誇ひ合つて戦ふ部隊の一人、東京府北多摩郡東村山村字大字野崎百年一年長の壮烈な戦死に鬪魂隊長は涙を振つて、ふかく眼した、野崎一等兵は去る十月二十五日○○部隊の掩護のため鎮静江クリーク渡河戦に参加し壮烈な戦死を遂げたのである、野崎一等兵のために高澤隊長の涙ぐましい話が伝へられた歌は次の通り感激に満ちたものである

一
鬪魂の下に死を誓ふ
揚ひのマーク共死君
明日しかりしその姿
今や何處に在すらん

二
野崎一等兵
野崎一何處と日々に
君が帰りに叫ぶ時
橋には君が命より
重しと幾せし弾薬箱

三
鬪魂隊
君に中はしるか
君が姿を失ひぬ
野崎一何處と日々に
君が帰りに叫ぶ時
涙と共に偲めるられ

四
鬪魂故郷の父母は
鬪魂故郷の兄弟は
君がせしのこの最期
涙と共に偲めるられ

渡河の最中に敵弾に中はしるか　揚ひのマーク共死君　明日しかりしその姿　今や何處に在すらん

この戦闘に部隊の負傷者補充班として最前線にかりつけた野崎一等兵は交代して見ると、自分の従兵増田義雄特務兵の身代りとなつた、前日の戦線の高澤に日をみはる暇もなく、廿五日午後四時野崎一等兵は重い弾薬箱を背負つて敵初の渡河点の部隊の陣地に当つた戦友たち三人、暁秋の

海苔

を出さぬ砲弾の炸裂、銃弾の雨の中を決死の渡河にかゝつた、濁流のクリークへ撃ち込まれた弾薬箱を背負つて敵初の渡河点の部隊の陣地に当つた戦友たち三人、暁秋の海苔を出さぬ砲弾の炸裂、銃弾の雨の中を決死の渡河にかゝつた、濁流のクリークへ撃ち込まれた弾薬箱を背負つて敵初の渡河点の部隊の陣地に当つた戦友たち三人、暁秋の

戦友

がハッと思つたら、野崎一等兵の姿はすでに濁流に呑まれて見る影もなかつた、日午後四時野崎一等兵は重い弾薬箱を背負つて敵初の渡河点の部隊の陣地に当つた戦友たち三人、暁秋の

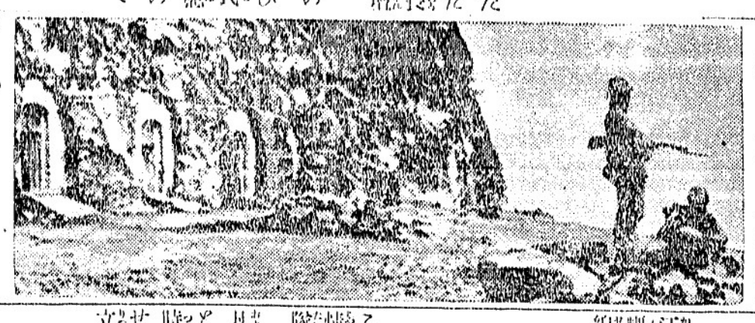
野菊

を供へ、戦死の後に香いと父親野崎吉氏及び合見東京市渋谷區下通り中村氏方野崎堂吉氏から届けられた遺問の小包を遺前に供へ、鬪魂のマークを胸間に佩し涙を流して呟氷を詠んだのであつた

敵が誇つた娘子關の大要塞

一聯隊入る洞窟兵營

（天津特電）北支の天嶮、娘子關地をジャンプ、乗いて日本軍鎖を可能に、一気に渡つてゐた、持つて行けるやうにしたもので本兵營から東南方へ約一粁のところにあり三方が山、眞下が治河の清流といふまさに天下一品の要塞だ、面も山腹七百米の高地にある岩窟兵營は山西の探題



戀文と思ひきや

世話になつた令嬢へ小便の詫び狀

軍事郵便　ヒゲ武者純情篇

（上海通信）突喊：砲撃：前進突撃：江湾鎮も遂に陥落して戦線の馳騨に多忙な日々を送つてゐた前線の兵隊さんにもやうやく

故郷

に便りの出される　やうな暇が出来てきた兵隊さん達が故郷に通信する場合は必ず班長が檢閲、裏に中隊長の認印が捺されてこれが軍事郵便となるのだがこの郵便をめぐつて次の様な純情ユーモアが江湾にある谷川部隊に捲き起つた

◇

凡そ氣が利いて仕事もテキパキとやつてのける○○上等兵、何時になく怪だらけの顔を硬ばらせて班長の所へ手紙を持参、直立不動の姿勢で班長殿、この手紙を見ずに中隊長殿の判を貰つてくれませんか　と云ふので班長よく相手の顔を見ると常の中の顔が赤く染まつてゐる、怪しみながら　お前のだけさう云ふ譯にはいかんなでは班長殿にだけそつと見せると云ふべき北支随一の堅陣であるわけだが、わが小林部隊の猛撃でさすがの支那もこれを抛棄して退却してしまつた、この若窟兵營は高さ四米、幅七米深さ二百米の穴が六つ東向きの山の突角に並んでゐる、内部はまた素晴らしい設備で將校室以上は各部屋ごとに絨毯を敷き、ベッドは勿論、ストーヴまでが備へられ弾薬庫など實に優秀なものである、しかも廣大なる下の本兵營とは幅員十米の自動車路で連絡してあるなどまさに前代未聞のモグラ兵營だ、この附近一帯は支那有數の渓谷美に富むところでハイキングの流行しない支那でもたまには観光客が杖をひくのでそのモグラ兵營の入口には　要塞地帯につき遊覧及び寫眞撮影を絶對禁ず　と書いてあつた（寫眞は洞窟兵營）

悲壯！蘇州河三勇士

死して糧食運ぶ

戰友感涙の腹拵へ

上海にて七日發＝田上部隊の蘇州河渡河戦は壮烈を極めたが、六日上等兵岩崎利一、一等兵高橋善一、下富末吉の三勇士は渡河部隊に糧食を補給するためそれ〴〵重い荷物を肩に六十メートルの假橋を渡る途中、先づ岩崎上等兵が敵から速射をうけて壮烈な最期を遂げるや背負つてゐた糧食を奪る二人が分けて携帯更に橋を進んだ時敵の弾は両勇士にも命中、どつと倒れたが『この糧食を運ぶまでは……』と滴る血汐を拭ひつゝ最後の死力を絞つて河を渡り対岸に達し大任を果すや傷重く遂に壮烈な最期を遂げた、しかし死をもつてした三勇士の糧食補給に涙の腹ごしらへをした戰友は復讐の意氣に燃え立ち見事敵を潰滅したのである（寫眞は糧食を前線へ運ぶわが將兵）

昨夜の講演會

大成功

根道領事講演

＝明夜フエアビウ語學校で

紙はり

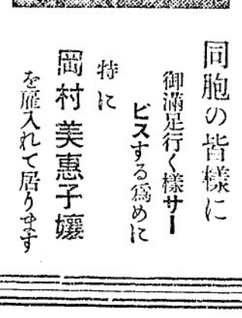
落ちを完全に塗り理の結度強良質の糊を用ひ凡て鬪和よくしを年の經驗を以て美しく全に責任を以て安價に致しますす後に至り惡しき個所出來たる場合は無料にてなほします

結婚式用日本髪物お貸します
御婚式用ベール、髪飾等は無料でサービス
最新式パーマネントウエーブ
晩市メーン街三三二
スタヤ洋服店

結婚式用髪飾及びベール無料で貸します
長髪、短髪パーマネントウエーブ美容術
十數年の經驗あり
晩市メーン街三三二
スタヤ洋服店

花嫁様の御支度
結婚式用ベール無料貸します
長髪、短髪パーマネントウエーブ
十數年の經驗あり
晩市メーン街三三二
スタヤ洋服店

御結婚式及髪飾無料貸
義式用振袖あり
クラウン生命保險會社

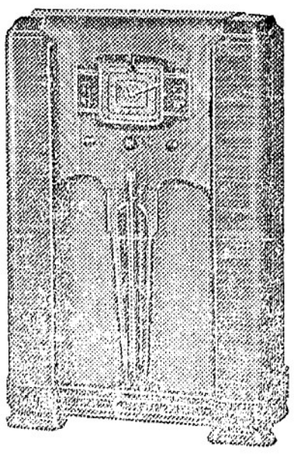


來る廿五日（木）より月末迄
「月末セール」
クリスマス贈物の御用意は出來ましたか
是非このセールを御利用下さい
ヤマト商會
グランビル街四六〇　電話シーモア八八三三

同胞の皆様に
御滿足行く様サービスする爲めに
特に
岡村美惠子孃
を雇入れて居ります

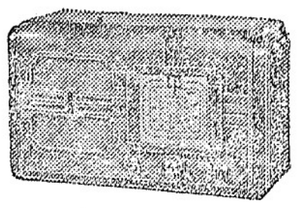
金、土大安賣
十一月廿六日、廿七日
キャラメル　一箱
サラダ・チー　半斤
ペコロス（大）　一瓶
レモン・エキストラフト　一瓶
バニラ・エキストラフト　一瓶
テーブル鹽　一箱
五月ノ素　二鑵
サラシ水　二本
バター　一斤
すべての品物を最も廉價にて願ひます
電話を御利用下さい
迅速配達
良い品を常に安く御願する同胞唯一のグロセテリヤ
松宮食料品店

悲愴！痛烈！
百戰百勝　燦たり皇軍の威容
事變ニウスの快よき放送
飛躍！ビクターの前進
無敵！
新發賣　1938型　ラジオ



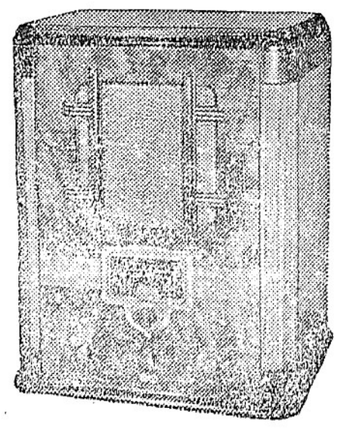
コンソール型ラジオ
六球　百〇九弗五十仙
八球　百四十七弗五十仙
十球　百八十九弗

1938
RCA Victor
意匠斬新
優秀性能
構造堅牢

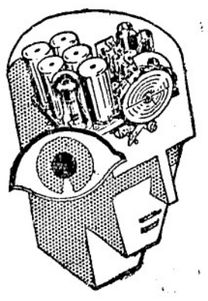


卓上型ラジオ
五球　四十九弗七十五仙
六球　七十二弗五十仙
八球　九十四弗五十仙

卓上型
ラジオ電氣蓄音器
百十弗



ビクター　バトリーセット　ラジオ



晩市パウエル街三〇一
大工堂
電話ダグラス五五